

# 火の山山頂屋内展望施設の計画概要について

## 1. 施設のコンセプト

海・山・まちに開き 人が集まるやわらかな展望施設

### (1) シンボルとしての施設デザイン

- ・周辺環境に調和し、なだらかな稜線になじむ、やわらかな形状・色味
- ・来訪者を迎える、クジラやふくをイメージした曲線状の屋根と軒下空間
- ・狼煙の歴史を継承し、山麓や対岸からも象徴性を感じるライトアップ

### (2) 広場と一体となり、憩いと賑わいを生む施設計画

- ・室内空間と広場、眺望の一体感を生む連続ガラスと屋外デッキ
- ・ゆったりと滞在し、多様な催しに柔軟に対応できる屋内ワンルーム構造
- ・火の山山頂の玄関口として、顔となる良質なカフェ機能の導入

### (3) 多様性を受容するユニバーサルデザイン

- ・ロープウェイから展望施設、広場に至るバリアフリー動線とサイン計画
- ・滑りにくい床や外構、段差高など、幅広い年代の方が歩きやすいつくり
- ・子育て世代や障害者の使いやすさに配慮した機能的なトイレ

## 2. 施設の概要

(1) 構造：RC造 一部鉄骨造 3階建

(2) 機能：3階 展望室（観光インフォメーション／カフェ／トイレ等）

2階 倉庫／電気室

1階 パルスゴンドラ上駅（待合ロビー／駅務室／トイレ等）

### 3. イメージパース

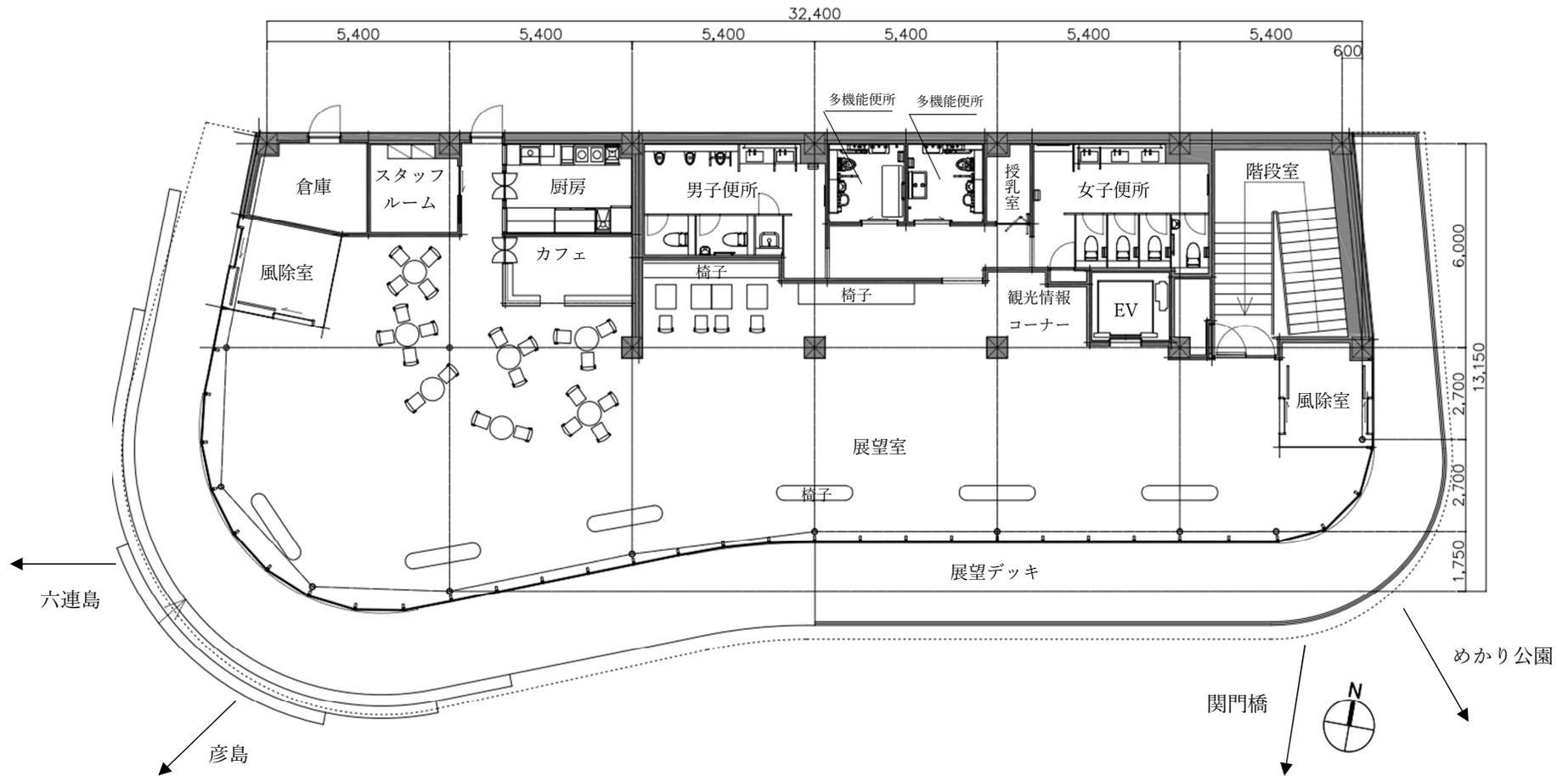


※各パースはイメージであり、実施設計の過程で変更となる場合があります。



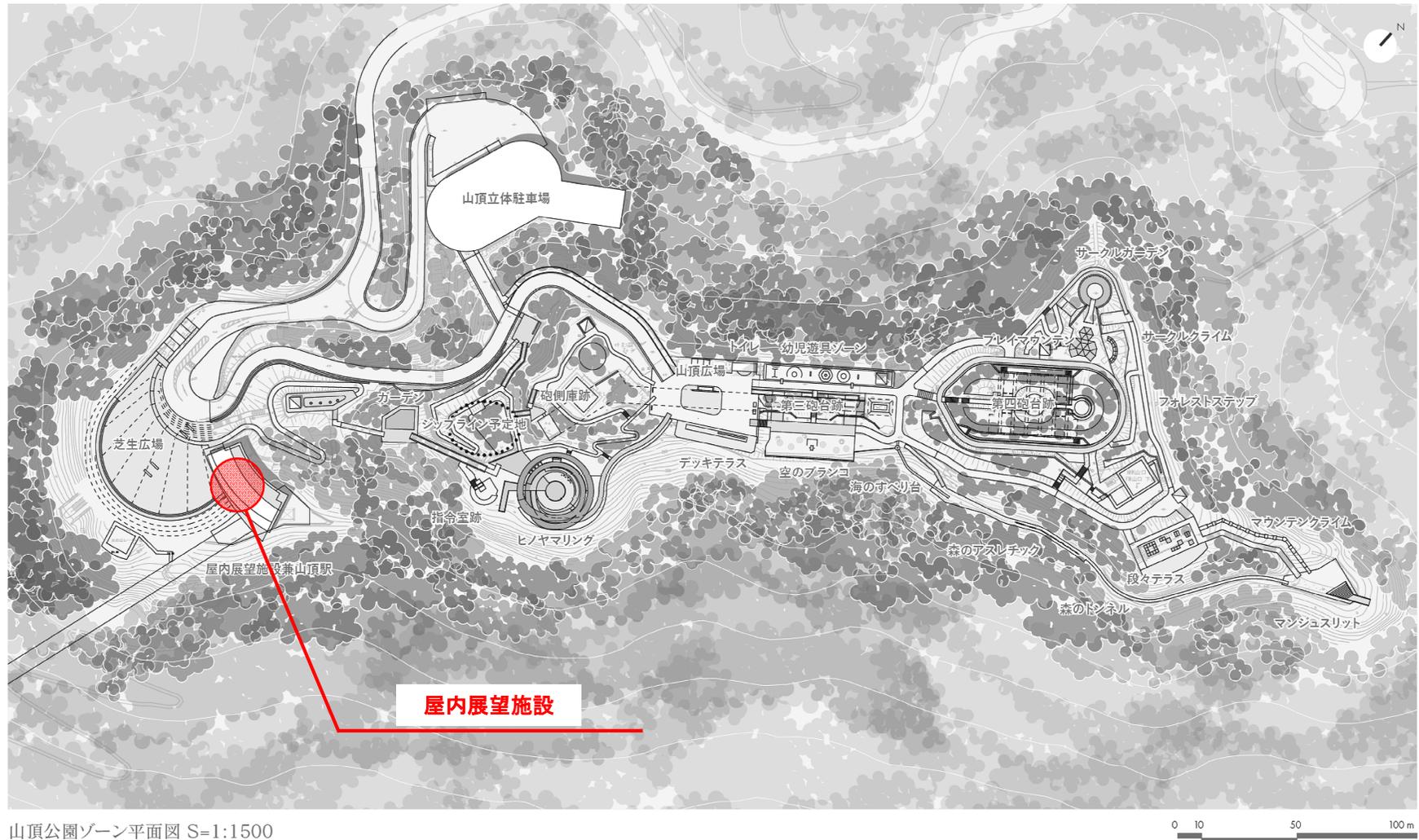
※各パースはイメージであり、実施設計の過程で変更となる場合があります。

#### 4. 展望室レイアウト



※レイアウトはイメージであり、実施設計の過程で変更となる場合があります。

## 5. 山頂平面図



山頂公園ゾーン平面図 S=1:1500